

第12回小松ビジュアル俳句コンテスト特選・入選作品

○特選

小松の部

森村誠一記念 写真俳句連絡協議会選

八十日目（神奈川県）

誰一人何も喋らず山笑う



黛まどか選・織作峰子選

入選：森村誠一記念 写真俳句連絡協議会選

嶋川 龍雄（青森県）

閉校の校舎と共に卒業す



芭蕉の部

森村誠一記念 写真俳句連絡協議会選

阿部 紗羅（東京都）

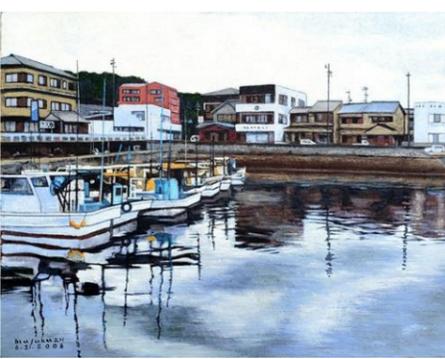
花手水紫陽花色の宝石箱



黛まどか選

柘植 雅一（愛知県）

終点は真鯨干される港町



織作峰子選

酒井 和平（石川県）

三日月が旅のフィナーレ小松便



一般の部

森村誠一記念 写真俳句連絡協議会選

坂爪 奈津子（石川県）

わたあめに古希の破顔や春祭



黛まどか選

古西 純子（石川県）

万緑の底より大樹仰ぎたり



織作峰子選

下村 修（神奈川県）

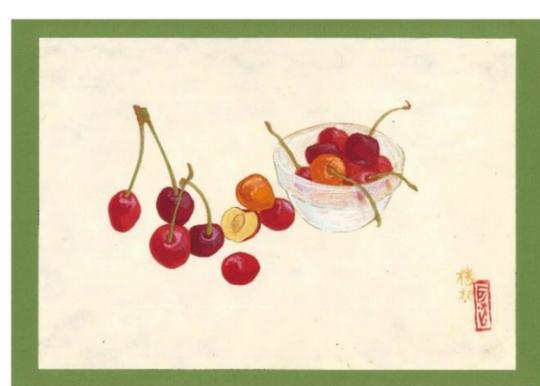
代掻ける田の面の空と平行に



高校生以下の部 小松俳文学協会選

北川 桔梗（岡山県）

妹の初恋はまださくらんぼ



国際俳句の部 木村聡雄選

島中あゆ（東京都）

autumn dusk
street performer's last one
it's echoing in the pond

秋の夕暮れ
大道芸人の最後の演目
池に響いて
(和訳：作者)



第12回小松ビジュアル俳句コンテスト特選・入選作品

○入選

小松の部

黛まどか選

大酢 啓子（石川県）

新雪に鳥来たるらしトトトト



織作峰子選

川合 進（宮城県）

孫の愛額に受けて敬老日



芭蕉の部

森村誠一記念 写真俳句連絡協議会選

栗原 由郎（埼玉県）

天平の時とどむるや冬日和



黛まどか選

入江 清一（京都府）

花筏追ひつつ巡る京の旅



一般の部

森村誠一記念 写真俳句連絡協議会選

酒井 和平（石川県）

パパ投げて！僕はオオタニ五月晴れ



黛まどか選

石川 昇（東京都）

覗かれてめだかの学校大騒ぎ



織作峰子選

井上 靖（神奈川県）

冬眠や高層ビルの開かぬ窓



織作峰子選

肥本 純二（神奈川県）

霜柱 shall we dance を楽しみ



第12回小松ビジュアル俳句コンテスト特選・入選作品

高校生以下の部 小松俳文学協会選

大野 未莉 (東京都)

がまがえるなぞなぞをとくかえりみち



森泉 (東京都)

いにしえのマンモス思ふかき氷



大久保 茉奈 (鹿児島県)

山滴る冒険後の帰り道



国際俳句の部 木村聡雄選

Goran Gatalica (Croatia)

duboko ljeto—

na očevim rukama

miris tartufa

(クロアチア語)

summer deepens—

on my father's hands

the smell of truffles

(英訳：作者)

夏深まる—

父の手には

トリュフの匂い

(和訳：木村聡雄)



Ana Jovanovska(東京都)

day opens lid of night

to show view of countryside's

stars starting to brew

昼が夜を開き

田園風景に

星々が

(和訳：木村聡雄)



Ana Jovanovska(東京都)

climbing Fujisan,

came in contact with the gods

talking face-to-face

富士登山

出会った神々との

対話

(和訳：木村聡雄)

